



夢もつ子 No.1

令和7年4月8日

長崎市立西浦上小学校
校長 田中 聡

今年度もよろしくお願いします

西浦上小学校4年目になりました、校長の田中聡です。「4年もおる～」と言われないように今年度も「夢もつ子」の育成に尽力します。今年度から新校舎での学校生活が始まりましたが、今後もプレハブ校舎や旧体育館棟の解体等の工事が続きます。不自由や不便な学校生活が予想されますが、引き続き本校の教育活動にご理解・ご協力をお願いします。

「穀を植うるは一年の計、樹を植うる十年の計、人を植うるは百年の計」「一樹一穫なる者は穀なり、一樹十穫なる者は木なり、一樹百穫なる者は人なり」などと言われるようです。人を育てることは時間がかかります。じっくり焦らず結果を急がず、長い先の未来や夢の実現を思い描き、今は何をなすべきかを見誤ることなく教え導きたいと考えています。その結果、多くの収穫があることを願っていますし「夢もつ子」の育成につながると考えます。

さて、4月5日（土）には、西浦上スポーツクラブや地域自治会、おやじの会や育友会などのお世話により、こいのぼりが設置されました。地域の方々や保護者の皆様の思いや願いをしっかりと受け止め、今年度も学校経営を充実させていきます。



1 学期始業式

本年度のスタートにあたり、始業式において子どもたちに「夢もつ子～心豊かでたくましく、夢に向かって挑戦できる子供の育成～」という教育目標について話しました。将来の夢や希望をもつことは、とても大切なことだと考えます。夢や希望は、人生を切り拓く原動力になるだけでなく、今後の生き方の方向性をも決定することがあります。ただし、ここで重要なことは、「夢」は必ずしも具体的な将来像、例えば職業や職種、役割に限らなくても良いということだと思います。だから、少しがんばったら叶いそうな身近な願いや実現できそうな小さな夢や目標をもつことが大切だと話しました。そして、その目標にチャレンジすることを頑張ろうと話しました。最後に今年度のスローガン＝「リボーン」について話しました。このことについては後日掲載します。

私の話の後には、6年生児童2名が最高学年・リーダーとしての抱負を堂々と発表しました。また、着任式では6年生2名の児童が、転入職員への歓迎の言葉を述べました。6年生が、これから西浦上小学校の「真のリーダー」へと成長していく姿が楽しみになりました。